

警 察 署 協 議 会 議 事 録

|         |                                                                                                                                                                              |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 協 議 会 名 | 令和8年第2回宮城県岩沼警察署協議会                                                                                                                                                           |
| 開 催 日 時 | 令和8年6月22日（月） 午後1時30分から<br>午後3時10分まで                                                                                                                                          |
| 開 催 場 所 | 宮城県岩沼警察署401会議室                                                                                                                                                               |
| 出 席 者 等 | <p>1 協議会委員<br/>出席委員～木村將昭会長、小野寿昭副会長、板橋肇子委員、<br/>山口美和委員、高橋佳代子委員、引地信佳委員、<br/>檜山伸哉委員、佐藤真希子委員、足沢佑樹委員</p> <p>2 警察署側<br/>署長、副署長、副参事、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、<br/>地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長</p> |
| 議 事 概 要 | 別紙のとおり                                                                                                                                                                       |
| 備 考     |                                                                                                                                                                              |

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

議 事 概 要

1 報告事項等

(1) 管内の治安情勢等について

署長から、令和8年5月末現在における管内の刑法犯認知件数、特殊詐欺発生状況及び交通事故発生状況等について説明がなされた。

《委員からの質問なし》

(2) 岩沼駅前交番の運用開始について

署長から、令和8年3月23日から運用開始をしている岩沼駅前交番の体制及び新設経緯等について説明がなされた。

《委員からの質問なし》

(3) 熊の出没状況について

生活安全課長から、令和8年5月末現在における熊の出没及び熊への対応について説明がなされた。

委 員： 熊駆除対応プロジェクトチームの体制はどのようなになっているのか

生活安全課長： 具体的な人数等はまだ出ていないが2名2丁という体制となると思われる。

署 長： 広報として市役所に連絡すると、市教委に伝達され、学校にも連絡されるようになっており、広く周知する体制になっている。

2 協議事項等

(1) 違法駐車取締り活動方針について

交通課長から、岩沼警察署における重点路線及び重点地域の設定等について説明がなされた。

委 員： 違法駐車取締り活動における駐車監視員の確認について教示願いたい。

交 通 課 長： 駐車監視員は、仙台市内の6警察署の管内で活動している。駐車監視員の活動は、対象警察署が策定したガイドラインに定める重点路線や地域、重点時間帯を中心に巡回し、警察署長が指示する場合、範囲外の活動を行う場合もある。

当署管内は駐車監視員の活動がないため、警察官が必要な取締りを行っている

委 員： 駐車監視員には資格が必要なのか。

交 通 課 長： 駐車監視員を雇用している事業所からの公募で決まり、駐車監視員は講習を受け活動を行うこととなる。

議 事 概 要

委 員： 私が居住する地域では、曲がり角や交差点に駐車している車両が目につき、大型車両や車高のある車両は視界を悪くするため、飛び出しなどによる事故のリスクが高まり、事故を未然に防ぐには取締りは必要だと思う。

交 通 課 長： 違法駐車は、円滑な交通を阻害し、道路障害を引き起こす迷惑性があるだけではなく、様々な交通事故の要因をはらむものである。

当署では、違法駐車取締り活動方針に定める重点路線と重点地域のほか、110番通報に基づいた対応、通常活動となる警戒警らでの現認など、あらゆる活動を通じて交通事故抑止に資する取組を図っていく。

委 員： 一般市民には重点路線、地域が認識されていないと感じるので、なぜ指定されたのか、どのような状態が違法駐車となるのかを市の広報や町内会等を通じ具体的に情報を提供してはいかがか。

また、警察による取締りだけではなく、対象路線の施設管理者に対し、駐車禁止の看板設置などを働き掛けてはいかがか。

交 通 課 長： 活動方針に定める重点路線や重点区域は、大型施設や鉄道駅などの利用や送迎目的でその路線や地域に流入する車両を対象と捉えている場合が多く、運転者は地元住民とは限らないため、管轄外を含めたより広い地域への周知方策として、市や県と連携しての広報の検討や、従来どおりのホームページでの公表を行っていく。

また、重点路線に面する施設管理者に対し日頃から管理者対策を行い、違法駐車、渋滞などが予想される大型イベント開催などの際は、事前に事業者等と協議を行い対策を講じている。

交通安全教育を行い、運転者の交通安全意識向上、交通ルール浸透を図りたいと考えている。

委 員： 違法駐車車両の脇を通過する時は、車線変更のために対向車や後続車への安全確認などの様々な行動が伴うことを違反者に再認識させるため、強制的に講習を受講させたり、A Iを活用した停車スペースの設置、事業所に駐車場の設置を義務化させ、一般道路等を不

## 議事概要

正に占拠することを禁ずることはできないか。

また、駐車違反の取締りを民間事業者に委託すれば、警察官の業務負担を軽減化でき、本来業務へのゆとりと円滑な執行を促すことができると思う。

交通課長：講習参加の義務化については法の整備を要するので、今後、社会の変容に伴う法改正要望の動向などを捉えながら、警察署としては現行法で可能な対応をしたいと考えている。

A Iを活用した停車スペースの設置と情報提供について、当署管内では該当がないが、管内神社での初詣などでは、コミュニティFMを通じて随時情報提供をしている。他県の観光地では、付近駐車場の空き情報が分かるよう自治体のホームページで公開し利用している事例もあるので、必要に応じて自治体へ提言していく。

また、駐車場の設置については、道路を車庫代わりにしてはならないことは、保管場所法に定められているので、さらに法の遵守を呼びかけていく。

民間事業者による違法駐車取締りは既に駐車監視員が宮城県内の6警察署で実施している。

委員：日頃、違法駐車に対してどのような取締りをしているのか。

交通課長：違法駐車の手締りは、道路交通法にのっとり、警察官や駐車監視員が現認して違反を認定し専用の機器を使用して駐車違反情報の登録と同時に違反認定作業を行っている。

警察署として、通報や要望を受けて行う取締りのほか、交通事故を誘引する危険な駐車違反の発見に努め、より一層交通指導取締りを強化していきたいと考えている。

### 3 意見・要望等

#### (1) 増田交番の修繕について

委員：増田交番は、正面外壁塗装の色褪せが進行し下地の補修痕が見える状態となっている。市民から「名取の中核を成す警察庁舎にしては景観が悪い。」との声が聞かれる現状であることから早い時期の修繕を切望する。

副参事：増田交番は、平成29年2月に完成し、築後

議事概要

9年が経過しているところであるが、外壁は経年に伴い仕上げ材に亀裂が生じたものと思われる。早急に対処方法を含めた見積りを徴し、本部主管課と調整を図りながら、予算要求を進めることとする。

署 長： 宮城県警では、建設後10年以上経過した交番・駐在所が163か所、そのうち、20年以上が経過した建物は135か所に上る。当署としては、早期の改修を要望していくが、このような事情から、緊急性が高い建物から対応せざるを得ない場合がある。

(2) 横断歩道等における交通安全対策について

委 員： 横断歩道や自転車横断帯における一時停止は年々向上しているが、夜間は横断歩道が見えにくくなるので、街路灯等を重点的に設置できれば夜間の事故防止にかなり効果があると思う。

交 通 課 長： 近年当署管内では、横断歩道上での死亡事故はないが、令和5年度、6年度中には重傷事故を惹起した運転者を逮捕する事案が複数あり、現在もなお軽傷事故が昼夜を問わず発生している実情である。

薄暮や夜間といった自動車運転者の見通しに影響する時間帯は、歩行者や自転車が被害に遭う交通事故が起こりやすい。街路灯の設置はより安全な道路交通の確保に効果をもたらすものであるから、今後道路管理者との協議の場などで最適な場所への設置となるよう調整していく。

委 員： 職場内で、同じように横断歩道が見えにくい箇所に、街路灯等を設置してほしいという話題になったが、どこに訴えればいいのか教えてほしい。

交 通 課 長： 道路管理者が設置することとなり、市道であれば自治体に要望として申し出ることになる。警察では、事故があった場合など、自治体等の道路管理者や、地域住民等と一緒に安全点検を実施して、原因と背景を明らかにするなどの協議を行っている。

委 員： 横断歩道を照らしているライトについて教えてほしい。

交 通 課 長： 横断歩道を直接照らすダウンライトという

|      |                        |                                                                                                                                                                                         |
|------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 議事概要 |                        | <p>ものがある。道路管理者が設置することとなるが、交通事故が日中と夜間どちらが多いのか等を道路管理者が調査して、ライトで照らす範囲、位置等を判断して設置している。</p>                                                                                                  |
|      | (3) 道路交通法改正後の自転車走行について |                                                                                                                                                                                         |
|      | 委 員：                   | <p>自転車を追いつく場合の走行方法について教えて欲しい。</p>                                                                                                                                                       |
|      | 交 通 課 長：               | <p>警察庁が公表している通行方法の目安は、自動車等が自転車等の右側を通過する場合には、できるだけ間隔を空け、少なくとも1メートル程度の間隔を空けるか、間隔を確保できない場合には時速約20～30キロメートル程度で運転することとされている。</p>                                                             |
|      |                        | <p>あくまで目安であり、自動車等が自転車等の右側を通過する際には、走行状況、道路状況や交通状況により異なるため、距離や速度が一律に定められている訳ではないことに注意し、安全な運転に努めていただきたい。</p>                                                                               |
|      | 委 員：                   | <p>中学生が交通量の多い歩道のない国道をヘルメットを被らず二人並列で走行しているのを見かけたが、小中高生に対するルールの浸透、注意喚起の活動方針を教示願いたい。</p>                                                                                                   |
|      | 交 通 課 長：               | <p>複数台の自転車が道路を並列で走行することは、道路交通法に違反するため、警察官が現認した場合には、直ちに当該運転者に停止を求め、是正するよう指導している。</p> <p>当署では、令和7年中、保育園や幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、事業所、公民館等を訪問して50回以上、幼児から老人まで様々な世代の約6,500人を対象に、交通安全教室を実施している。</p> |
|      |                        | <p>今後もあらゆる年代への交通安全教育を行い、交通事故抑止につながる啓発活動を進めて交通ルールの浸透を図ることとしている。</p>                                                                                                                      |
|      | 委 員：                   | <p>自転車は、免許がいらないので誰でも乗ることができる。しかし、学生や高齢者にはなかなか交通ルールが浸透していないので引き続き講習をお願いしたい。</p>                                                                                                          |
|      | 委 員：                   | <p>自転車の青切符の状況を知りたい。また、青切符制度導入後、岩沼警察署管内で自転車運転者のマナーは向上したのか。</p>                                                                                                                           |
|      | 交 通 課 長：               | <p>本年4月1日の法改正から5月末日までの</p>                                                                                                                                                              |

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>議事概要</p> | <p>間、交通反則通告制度にのっとった自転車運転者の検挙は、宮城県内において53件あった。</p> <p>当署管内では赤色信号無視、一時不停止の3件があり、また、その他に、酒気帯び運転1件の検挙があった。</p> <p>法改正後における当署管内の自転車運転者のマナー向上が図られたか否かについては、統計資料がないため正確なことは申し上げることはできないが、自転車運転や交通マナーに社会的関心が寄せられ、管内の居住者や事業所の関係者の意識やマナー向上の高まりを感じているところである。</p> <p>(4) 闇バイトへの関与等防止について</p> <p>委員：若い世代を中心としたトクリュウなどの闇バイトへの関与や被害防止のために、教育機関などと連携して犯罪防止、教育思想の徹底化を図って欲しい。</p> <p>生活安全課長：闇バイトへの関与防止については、当署管内の各小中高校で昨年度は52回の防犯教室を実施している。</p> <p>防犯教室は、闇バイトに限定したものではなく、非行防止、被害防止、薬物乱用防止など、少年健全育成のために必要な内容を都度更新しながら実施しており、本年も引き続き開催する。</p> <p>また、今年は管内中学校の防犯ボランティア「アルカス」と地元防犯協会と合同での防犯広報キャンペーンを増やし、活動を通じて、少年自身の社会性や判断力を高め、犯罪被害に遭わないよう、また、トクリュウに使われないように育てていく。</p> <p>4 質疑応答</p> <p>委員からの質疑応答なし。</p> <p>5 次回の開催予定</p> <p>警務課長：次回協議会は、令和8年10月頃に開催予定である。</p> |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|